

# 虐待から守るために ~ 私たちができること ~

私たち看護師は、子ども・障害児者・高齢者等、日常的に社会的弱者と呼ばれる方達をケアしています。私たちの一つひとつの行動が虐待につながる可能性があります。このことをよく理解することが虐待防止にむけた第一歩です。

虐待は、より良く生きようとする権利を奪う重大な人権侵害行為です。やさしい目を持ち、虐待の芽をなくすことは私たちの責務の一つです。そこで、今回は、虐待を防止するために私たちができていることを考えてみました。



## みなさんの身近で こんなことはありませんか？

- 多数の虫歯がある
- 外泊から帰ってきたら、子どもに不自然なあざができていた
- 家族の前では子どもが異常に萎縮する
- 「しつけ」と称し子どもにける言葉かけがきつい
- 本人の能力以上の訓練をさせようとする
- 外泊から帰ってくると痩せている
- 職員がむりやり食事を食べさせている
- 利用者の顔の周りが長時間汚れたままである
- 本人が嫌がっているのに、訓練と称して無理な姿勢を取らせている
- 職員がカーテンの陰で利用者をたたいていた
- 車椅子に乗車して活動に参加できるが、朝から晩までベッドにいた
- 朝早く、まだ寝ているのに着替えて車椅子にのり食堂につれていられる
- 職員が利用者に対して、命令口調で指示をしている



## 児童(子ども)虐待

発見したら

**通告義務があります！**

市町村、都道府県の設置する福祉事務所もしくは児童相談所に通告しましょう

**院内で気がついた場合**

1人で抱え込まず、医師、師長、CNS、MSW等へ相談し、皆で情報を共有して、対応を考えていきましょう

## 虐待に関連する 法律・ガイドライン

- 児童虐待防止法
- 児童福祉法
- 子ども虐待対応の手引き
- 児童虐待を行った保護者に対する援助ガイドライン

## 障害者虐待

定義

障害児(者)に対する不適切な言動や障害者自身の心を傷つけるものから傷害罪等の犯罪となるものまで幅広いもの

**施設内虐待**

障害者虐待の特徴は、密室状況で大規模で生じる可能性があることです。身体的虐待・正当な理由のない身体拘束・性的虐待・心理的虐待・ネグレクト・経済的虐待を含みます。「訓練」や「指導」の名のもとにおける虐待を許してはなりません。虐待防止体制整備や、セルフチェックが重要です。

- 障害者虐待防止法
- 障害者総合支援法
- 障害者虐待防止の手引き

## 高齢者虐待

リスクが高い場合

**窓口は市町村、地域包括支援センター**

介護ストレスの積み重ねなどが要因です。少しでもリスクがある場合には連絡・相談、通報しましょう

- 高齢者虐待防止法
- 市町村都道府県における高齢者虐待への対応と擁護者支援について



# CNS・CNからの情報

## 高齢者のケアへの理解を深めよう！図書紹介

「認知症」は高齢者看護において大変重要なトピックスです！



認知症の母の日常を息子である作者が、漫画と文章で描いています。認知症患者さんや家族に対する理解を深められる作品です。認知症の方の「あるがまま」を受け入れたくなる、面白く、少し切ない作品です。



「いくつもの病をかかえる高齢者」、その身体的特徴を「老年症候群」としてとらえ、各症状と対応策、高齢者医療が直面する問題をあつかう、高齢者医療の教科書の本です。単行本なので読みやすく、お勧めです！！

老人看護専門看護師 岩崎友理子(3AB棟 PHS 721) PHS持っています

高齢者ケアについて、是非ご相談下さい

## ケースで学ぼう！意識障害と易疲労性の理解

Q:このケースの状態をどう判断しますか？

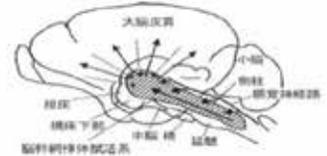
診断・障害名は、脳梗塞・運動障害、動眼神経麻痺、高次脳機能障害。t-PA治療を受け、血管は再開通したが、CT上脳幹部(視床)に梗塞像を認めた。1か月経過した時点で、四肢には明らかな麻痺はなく、筋力低下程度。傾眠(JCS10)で動眼神経麻痺を認めていた。車いすに乗車していることや指示に従えるが、刺激をしないと眠ってしまう状況。

1:脳梗塞による意識障害 2:高次脳機能障害の易疲労性



正解:1

・発症から1ヶ月以上経過している、四肢に明らかな麻痺がない、離床やリハビリテーションを中心とした生活様式の変化や障害名に高次脳機能障害があるなどからB:易疲労性ということも考えるかもしれませんが、【脳梗塞による上行性網様体賦活系の意識障害】と判断し、覚醒を促す支援することが妥当です。理由は脳の損傷部位(梗塞像)です。



易疲労性は、

大脳の前頭葉の前頭連合(前野)の発動性・意欲・創造性などの機能が障害されて起こる現象。

意識は、

大脳皮質(脳の外側)と上行性網様体賦活系(脳幹網様体や視床非特殊核、視床下部)によって維持されています。

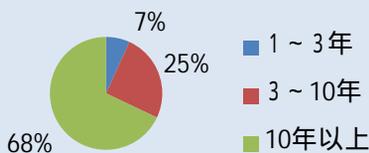
大脳皮質は上行性網様体賦活系からの持続的な刺激を受けて、覚醒状態となり様々な認知機能を果たします。上行性網様体賦活系は、末梢からの感覚刺激を受けて、大脳皮質を覚醒状態に保ちます。つまり、上行性網様体賦活系が働かないと大脳皮質が覚醒せず動きません。

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 越野明子

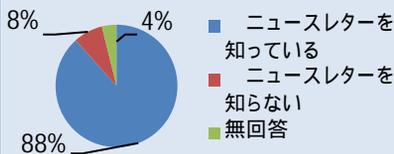
## ニュースターアンケート結果

回収率 72% (103名/144名)

### 【回答者の経験年数】



### 【ニュースターの認知度】



### 【役だった記事】

- ・摂食嚥下・食形態10件
- ・爪ケア5件
- ・褥瘡ケア3件
- ・家族支援3件
- ・CNS/CNの活動報告3件
- ・CVA予防2件
- ・スキンケア2件
- ・文献紹介2件
- ・その他1:検査検体、排泄、転倒転落、他部署との連携、口腔ケア、高次脳、看護過程、PEG
- ・その他2:基本の再確認ができた、対応が確認できた、症状別の対応がわかった、部分以外のやり方がわかった、新しい方法がわかった、深い情報が欲しい

### 【とりあげて欲しいテーマ】

- ・CNS/CNに関連したこと6件
- ・呼吸ケア5件
- ・転倒・転落予防3件
- ・口腔ケア3件
- ・てんかん治療 2件
- ・その他
- ターミナルケア、補装具、筋緊張
- 多職種連携、ICF

### 【ご意見・ご要望】

- ・配布部数を増やして欲しい、興味深く読んでいる、冊子を読み返している
- ・クイズ形式のものを取り入れる
- ・福祉職も見ると日々実践に役立つのではないが、休憩中にちょっと読むくらいの内容を少しずつ長く続けるのが良い
- ・CNS・CNにもっと活躍してほしい
- ・病棟ラウンドの時間がもっと長いとよい

ご協力ありがとうございました